

令和2年4月17日
愛媛大学

「5月17日は高血圧の日」
高血圧管理の徹底さがいま求められる県内5地区が判明！
～心不全パンデミック※予防のため～

愛媛県は心疾患の死亡率が全国第2位と非常に多い県です。

心疾患死の原因は、心不全や急性心筋梗塞によるところが大きいですが、当県では心不全による心疾患死が多いのではないかと推測されます。一方、心不全のリスク因子である高血圧と診断される割合も全国上位に位置するにも関わらず、高血圧に対する通院率は全国平均並みであることから、降圧管理が不良もしくは十分でないケースが多いため心不全数が増加しているのではないかと考えられます。しかし、その実態については不明でありました。

今回、心不全の一因となる高血圧性心肥大の存在を健診データの心電図から類推し、県内地区別における降圧管理と高血圧性心肥大の関連性について検証し、「上島町」、「八幡浜市」、「西予市」、「松野町」と「愛南町」の5市町では高血圧に対する管理不足のため心肥大所見が多く認められていることを明らかとしました。この5市町に対しては、高血圧に対する生活指導等の徹底した介入を行うことが高血圧性心肥大の発生を抑制、ひいては将来の心不全発症を抑制するうえで重要であると考えます。

5月17日の「高血圧の日」にあたって、県民へ啓蒙し、高血圧に対する予防と管理の重要性について意識改革を促したくプレスリリースさせていただきました。
つきましては、是非、取材くださいますようお願いいたします。

(※) 心不全パンデミック…高齢者の増加に伴い、高齢者心不全が大幅に増加すること

本件に関する問い合わせ先

担当部署：愛媛大学大学院医学系研究科・薬理学

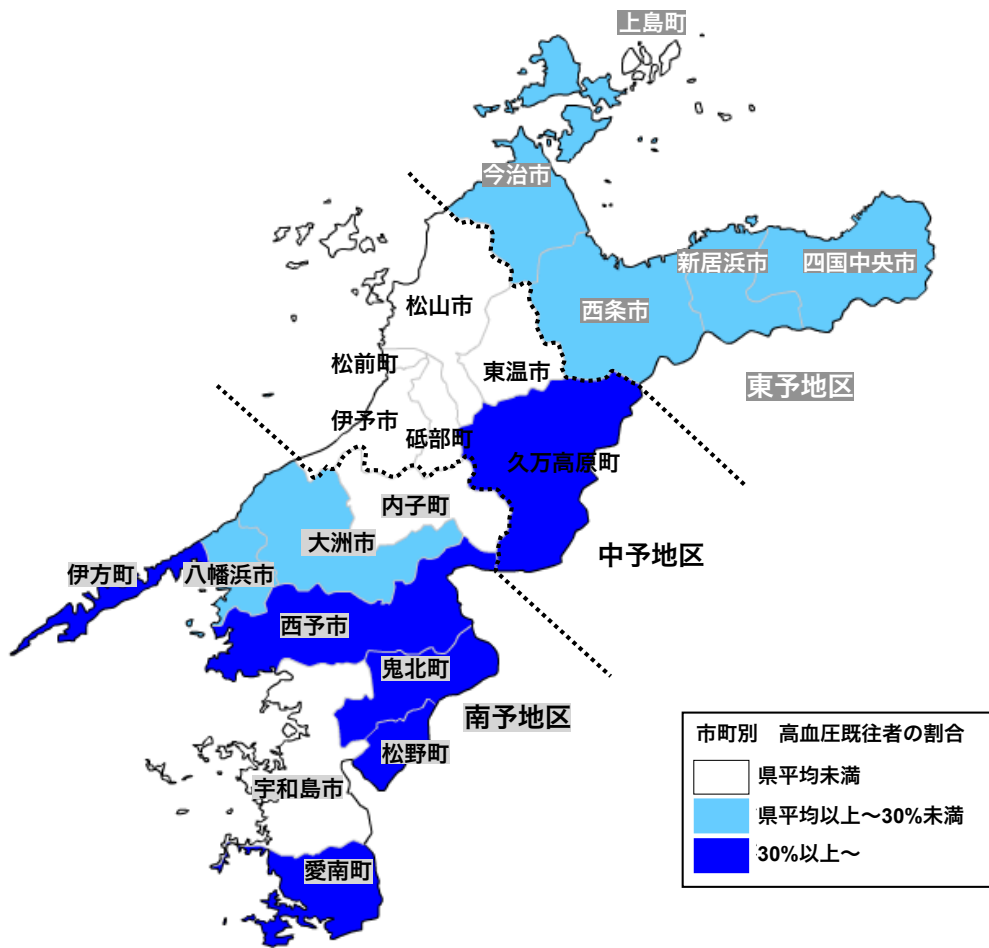
担当者名：外山研介

TEL：089-960-5260

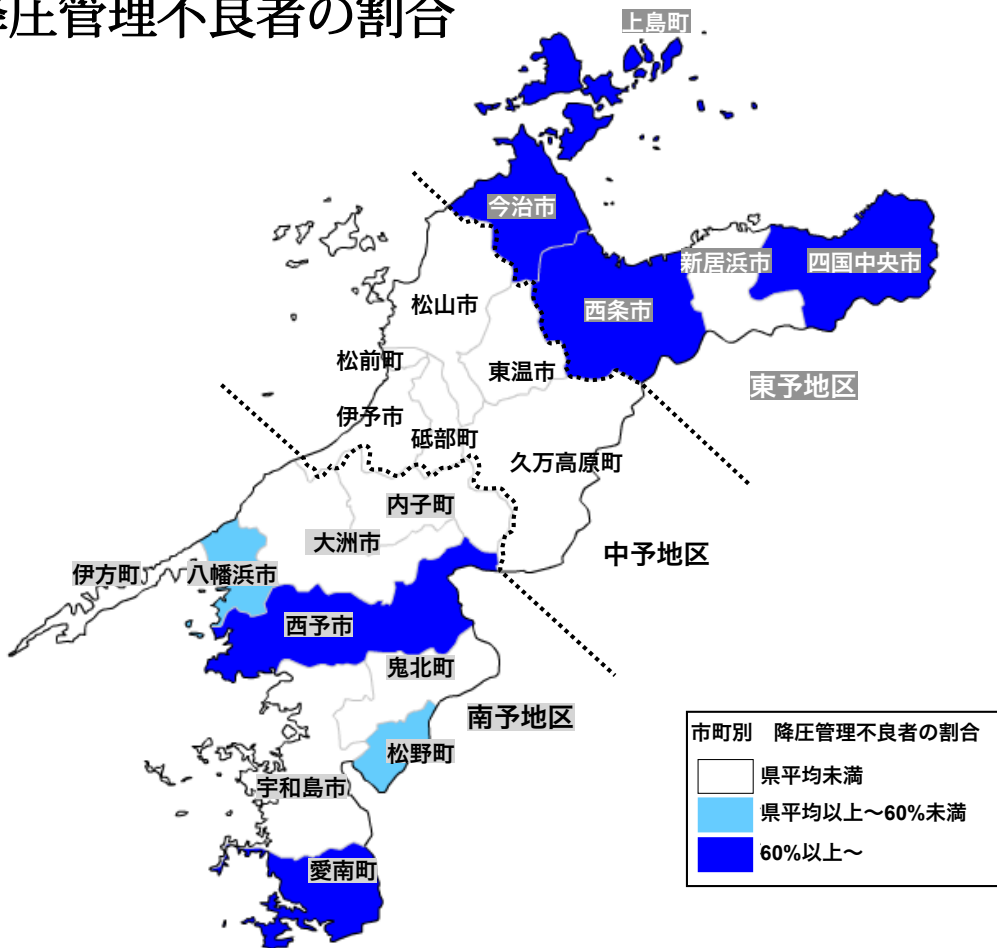
Mail：k-toyama@m.ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚(本紙を含む)

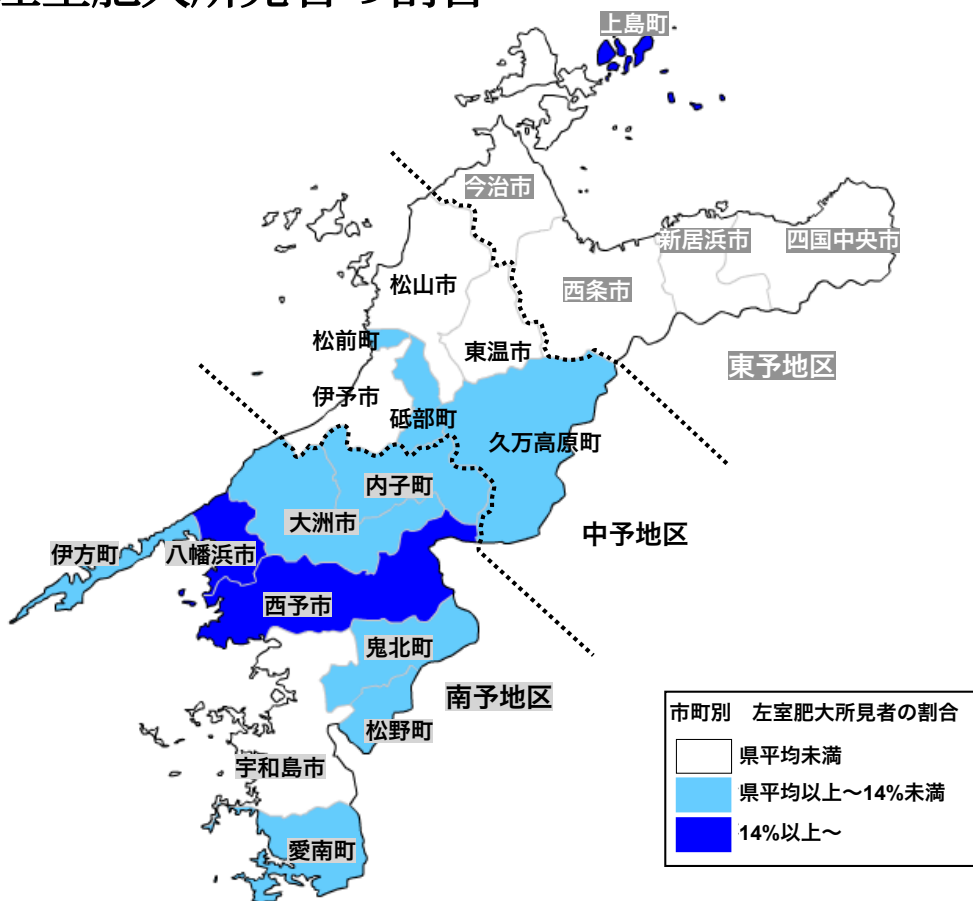
市町別 高血圧既往者の割合



市町別 降圧管理不良者の割合



市町別 左室肥大所見者の割合



降圧管理不良な地区で、かつ左室肥大所見が多く認められる地区

